

令和6年度中期運営計画の評価（機関評価）結果

評価年月日：令和6年7月30日

1 試験研究

【項目別の実績値及び評価結果】（評価委員数 7名）

重点推進事項名と指標名	目標値 (/年)	実績値 (R5 年度)	総合評価	各評価人数（人）			
				A A	A	B	C
① 農産物の付加価値向上に繋がる新品種・新技術の開発 指標名：所得10%以上の向上につながる研究成果数	4 成果	3 成果	A	0	6	1	0
② ICT等先端技術の利活用による生産性向上と水田高収益化に資する新技術の開発 指標名：生産性向上により売上1億円の達成実現につながる研究成果数	2 成果	1 成果					
③ 持続可能な農業を実現する有機農業等の推進や気候変動に対応した新技術の開発 指標名：有機農業等の推進や気候変動に対応した研究成果数	3 成果	4 成果					

【主な意見】

- ・当初の目標値を上回り、上方修正された目標値に迫る実績を上げていることから、試験研究は着実に推進されていると評価できる。また、県が推進している有機農業関連の研究にも着手していることも評価できる。今後も生産現場と密着した研究とともに、基盤的な科学的知見も踏まえた取組にも期待したい。
- ・完了課題の中には、その後さらに何年も継続する傾向も見られるが、農業・農村が大きな転換点を迎える中、研究内容には新鮮さとより一層のスピード感が必要である。

2 試験研究以外の取組

【項目別の実績値及び評価結果】（評価委員数 7名）

重点推進事項名と指標名	目標値 (/年)	実績値 (R4 年度)	総合評価	各評価人数（人）			
				A A	A	B	C
① 成果の普及活用促進 指標名：普及目標を達成した「普及に移す成果」数	7 成果	4 成果	B	0	2	5	0
② 広報・情報提供 指標名：研究の取組・成果等に関するマスコミへの情報提供数	18 件	21 件	A	1	6	0	0
③ 他機関との連携 指標名：外部機関との共同研究割合	30%	32%	A	0	7	0	0
④ 研究予算の確保 指標名：戦略的な予算を用いた新規研究課題数	10 課題	9 課題	A	0	7	0	0
⑤ 内部人財育成 指標名：学会等への論文投稿数	20 報	14 報	B	0	2	5	0

【主な意見】

- ・全体としては目標値を下回っているが、目標値に迫る 90%超えの実績もあり評価できる。目標値に迫っている成果やその後の普及の著しい成果をどう評価するか、検討してみる必要がある。また、進捗の遅れがある課題についての原因と対策を明らかにすることも重要であり、この点の記述も求めたい。
- ・マスコミへの情報提供数は、年間スケジュールに沿った計画的な取組の結果が実を結び、チャレンジングな目標値である 18 件/年を上回る 21 件を達成し、高く評価できる。研究の取組や成果については、引き続き積極的な周知を期待したい。なお、今後は情報提供した先の明示も検討してほしい。
- ・先端技術の活用や成果の実装に向けて積極的な連携を進めており、目標値 30%を超える共同研究の実績は評価できる。引き続き、共同研究の推進を図っていただくとともに、更なる連携強化を期待したい。なお、他機関との連携については、県の役割分担がわかるような記述がほしい。
- ・目標を概ね達成できており、外部資金獲得に向けて積極的な取組をしていると評価する。競争的資金では課題内容に新規性が求められるので、農業総合センターとしても、提案課題のブラッシュアップを図る内部体制を整備し、支援に努めてもらいたい。
- ・目標値に至らず、全国誌への投稿も少なかった。学会等への論文投稿は、研究者としての資質を高める上で必須である。引き続き研究員に対しては、完了課題の論文化を促すとともに、若手研究者に対する上司の指導や支援も強めてもらいたい。